

わくわく田底っ子

第33号

文責：校長 益永 一幸

長縄（学年一斉8の字跳び）がんばってます～スポーツ委員会企画～



毎年冬の恒例となった、「一斉長縄跳び（8の字跳び）」が始まりました。これは市一斉の長縄跳びチャレンジフェスタの一環として、3分間で跳べた回数を申告するものです。

スポーツ委員会から、朝の短時間学習の時間を使ってやりたいとの申し出があり、8:30からの約10分間で取り組んでいます。引っかかって失敗しても、「大丈夫だよ」などの声掛けがあり、笑顔で励まし合いながら、めあての記録達成に向かっていく姿が、とても素晴らしいです。

積もった雪で大はしゃぎ



23日はこの冬一番の寒気が熊本県内に流れ込み、田底小学校の校庭にたくさんの雪が積もりました。子どもたちは、登校するやいなや一目散に校庭に飛び出し、雪だるまを作る子、雪合戦をする子、人形を作る子など様々に雪とたわむれていました。

5年生「水俣に学ぶ肥後っ子教室」で人権・環境学習

26日（金）に、5年生は「熊本県環境センター」「水俣市立水俣病資料館」「国立水俣病情報センター」に行き、水俣の公害を教訓に学ぶ、環境学習と差別や偏見をなくす人権学習を学びました。

当日は、泗水西小の5年生（9人）と一緒に、語り部の「滝下昌文」さんの講話を聞きました。発病したこと・療養生活のこと・偏見や差別にあったこと・石川さゆりコンサートを成功させたことなどを話していただきました。坂梨叶奈さんは、お礼の言葉の中で「そのような苦しい中でも、修学旅行にみんなと行って楽しかったことがあってよかった。」という感想を述べていました。自分事としてしっかり学んでいたと思い感心しました。また、水質テストや環境クイズなどもあり、身近で自分たちにできる環境保全についても学んでいました。

